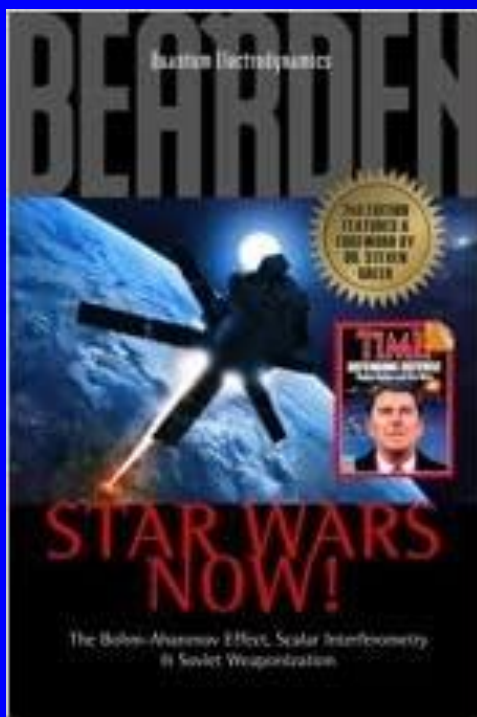


ソビエトのテスラ兵器 及びHAARPプロジェクト

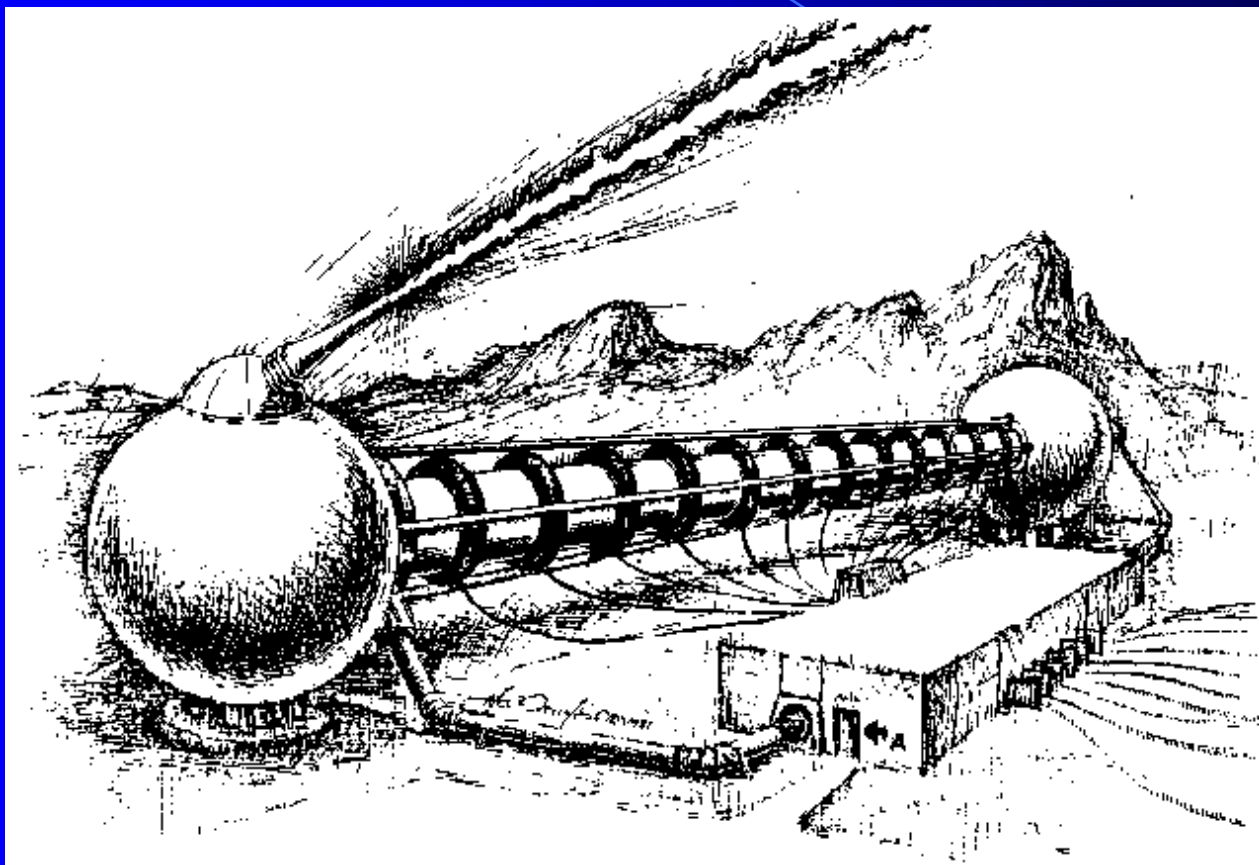
T.Musha



ムー2020年9月号



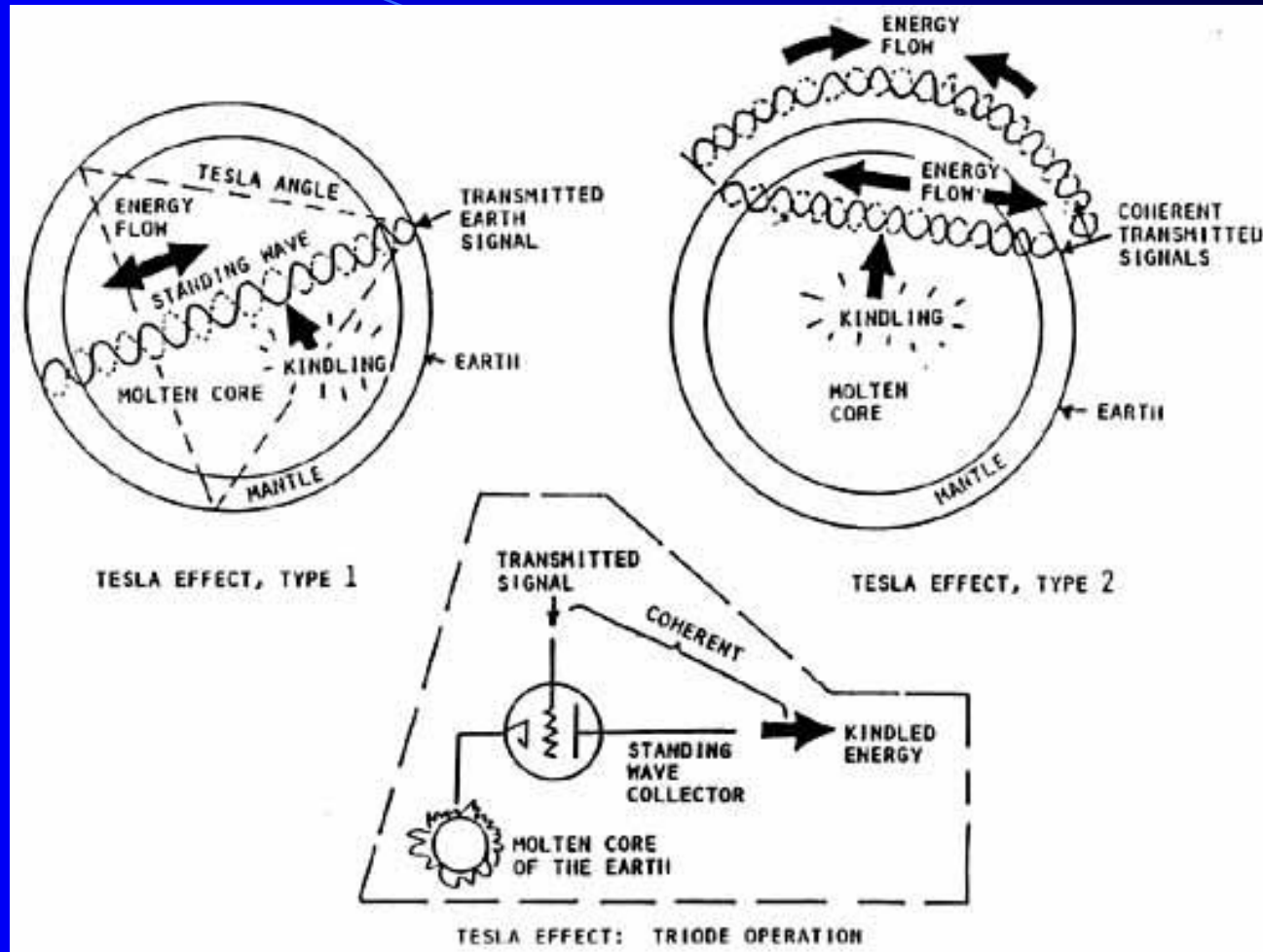
宇宙兵器の開発についての記事



テスラ兵器の想像図



テスラの実験風景



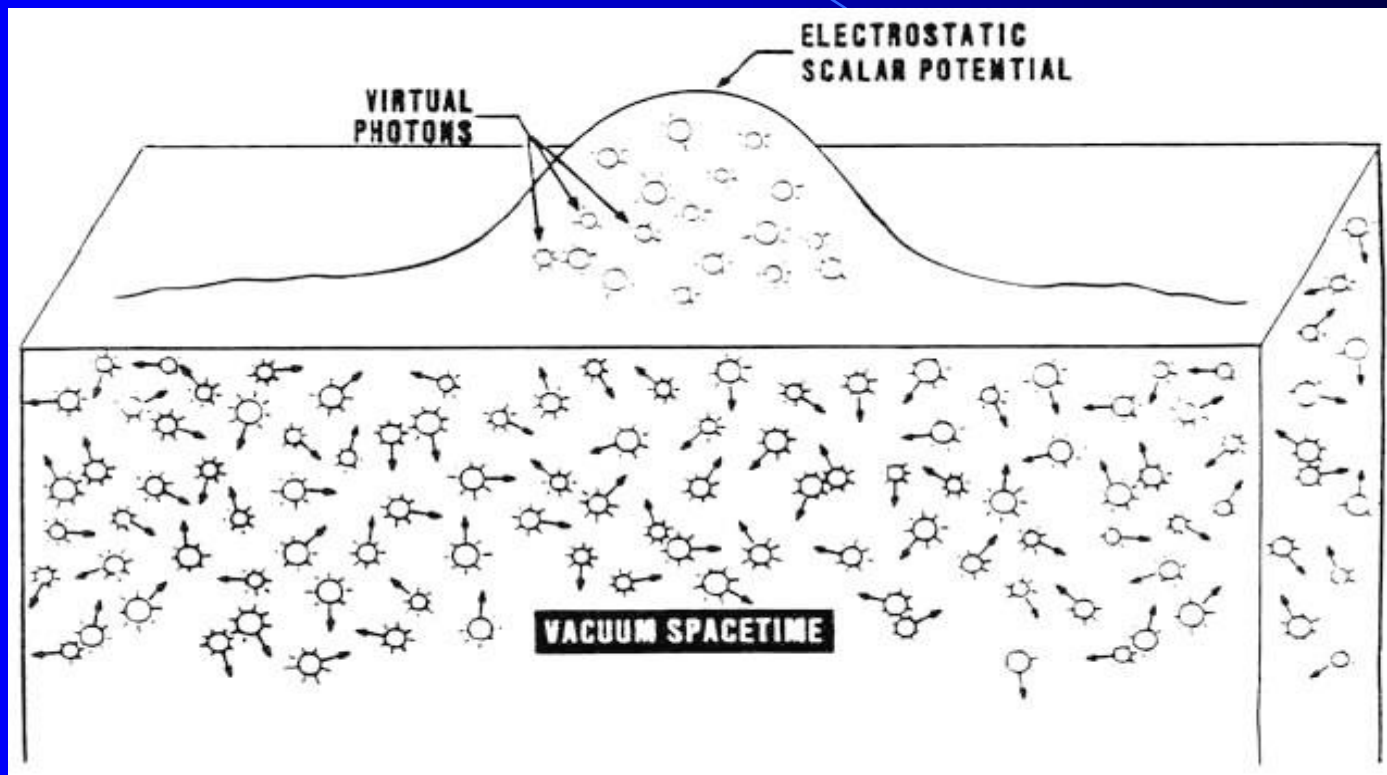
テスラの考えた地球エネルギー伝送システム
 (地球上の2点間のスカラー波の対結合により
 エネルギーが生ずる)



スカラー縦波を発生するテスラ・タワーの外観図



テスラ・タワーの作動時の想像図



真空の電荷の海（スカラーポテンシャルはそれからの変動幅である）

ベクトルポテンシャル場の歪みテンソル

$$\Phi_{ij} = \frac{1}{2} \left(\frac{\partial A_{xi}}{\partial x_j} + \frac{\partial A_{xj}}{\partial x_i} \right)$$



電磁応力テンソル
の波動方程式

$$\epsilon \frac{\partial^2 A}{\partial t^2} = \nabla \cdot \Psi$$



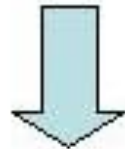
電磁場の方程式

$$\epsilon \frac{\partial^2 A}{\partial t^2} - J = \frac{1}{\mu} \nabla^2 A - \nabla \left(\frac{1}{\mu} \theta + \epsilon \frac{\partial \phi}{\partial t} \right)$$

電磁場方程式の導出過程

電磁場の方程式

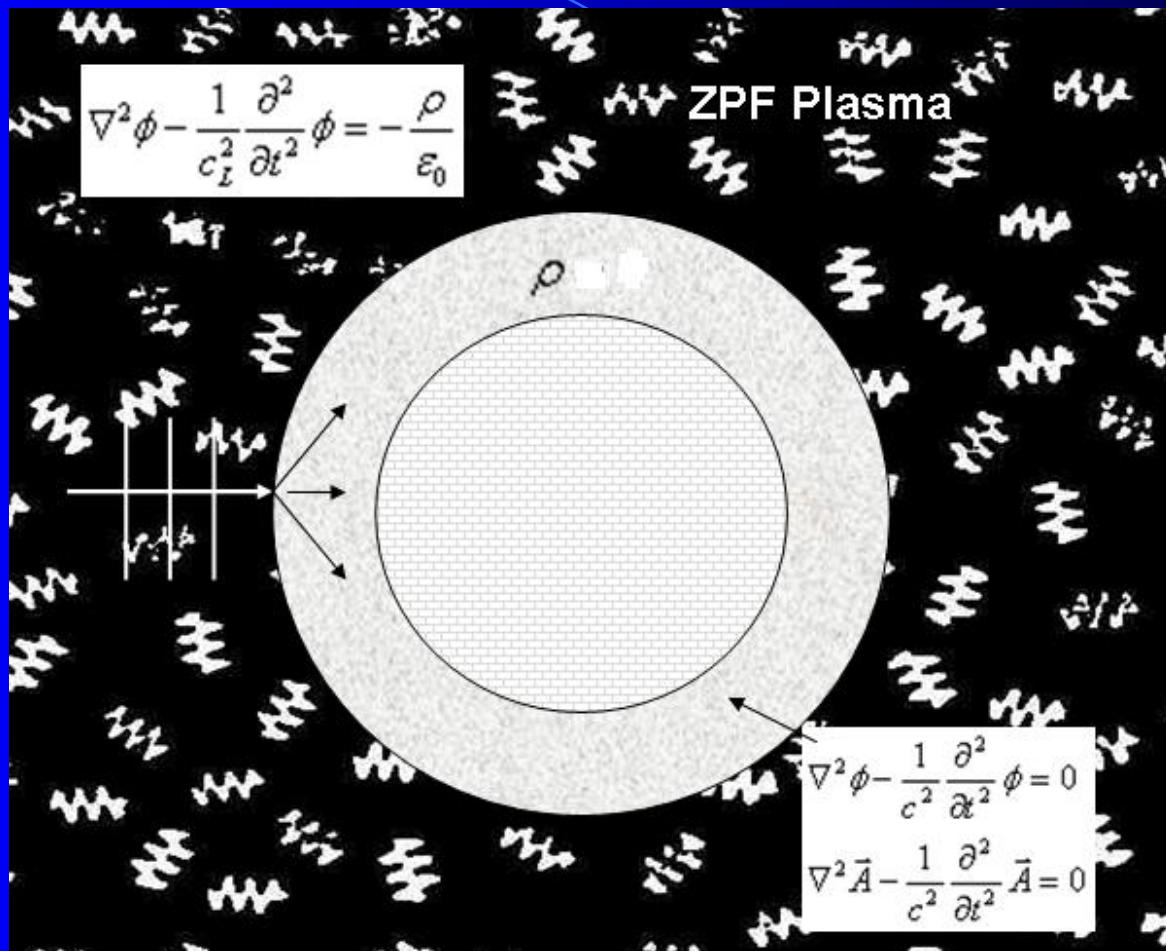
$$\frac{\partial^2}{\partial t^2} A = c^2 \nabla^2 A + (v_l^2 - c^2) \nabla \theta + \frac{J}{\varepsilon}$$



$$\nabla^2 \phi - \frac{1}{v_l^2} \frac{\partial^2}{\partial t^2} \phi = 0 \quad (\text{縦波})$$

$$\nabla^2 B + \frac{1}{c^2} \frac{\partial^2}{\partial t^2} B = 0 \quad (\text{横波})$$

縦波と横波の電磁場の方程式



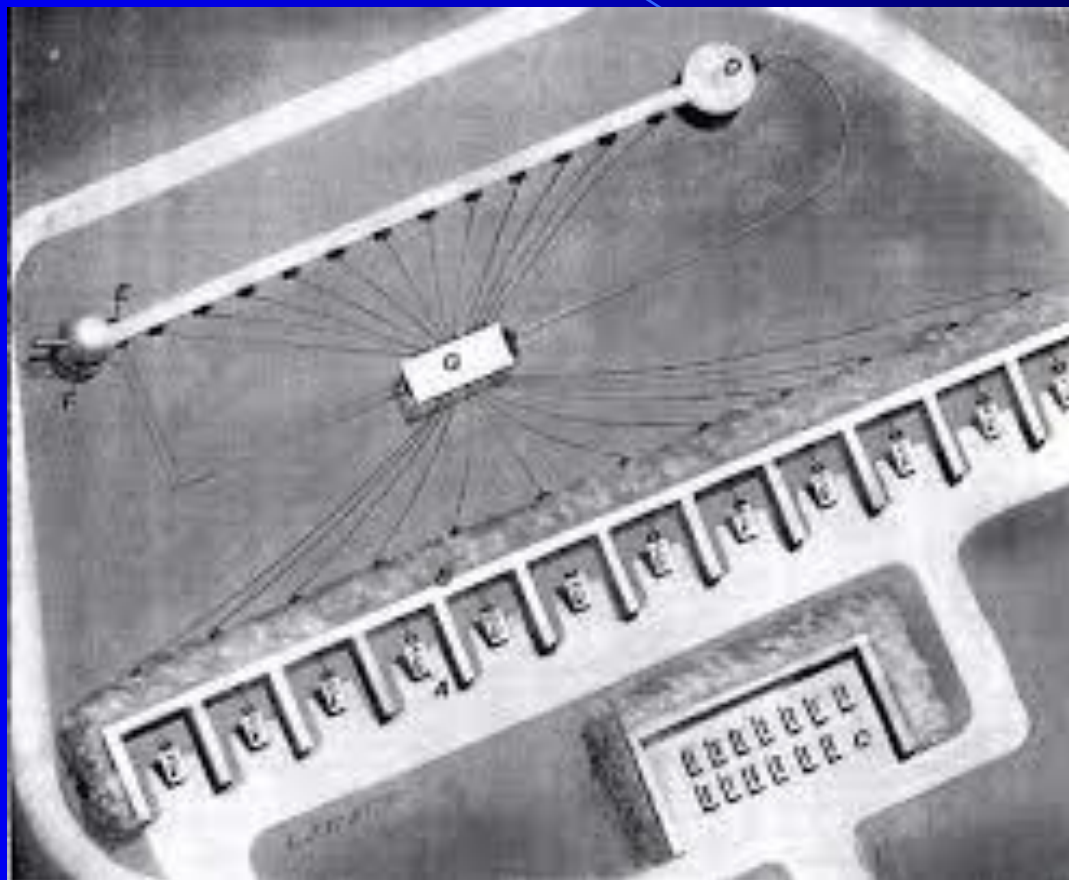
光が発生するメカニズム（地球の大気中で光が生じる）



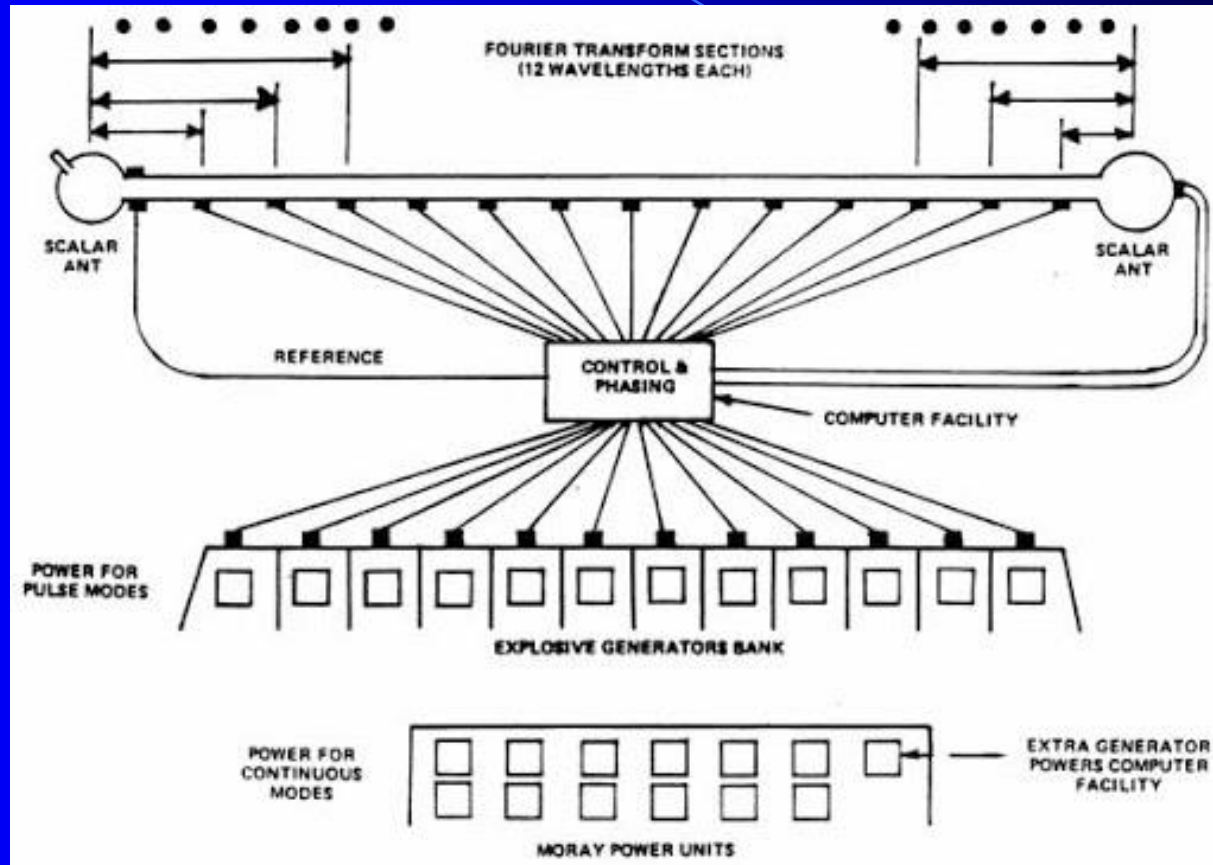
地表からの星の眺めと宇宙空間での比較
(右側はほとんど星の光がない)



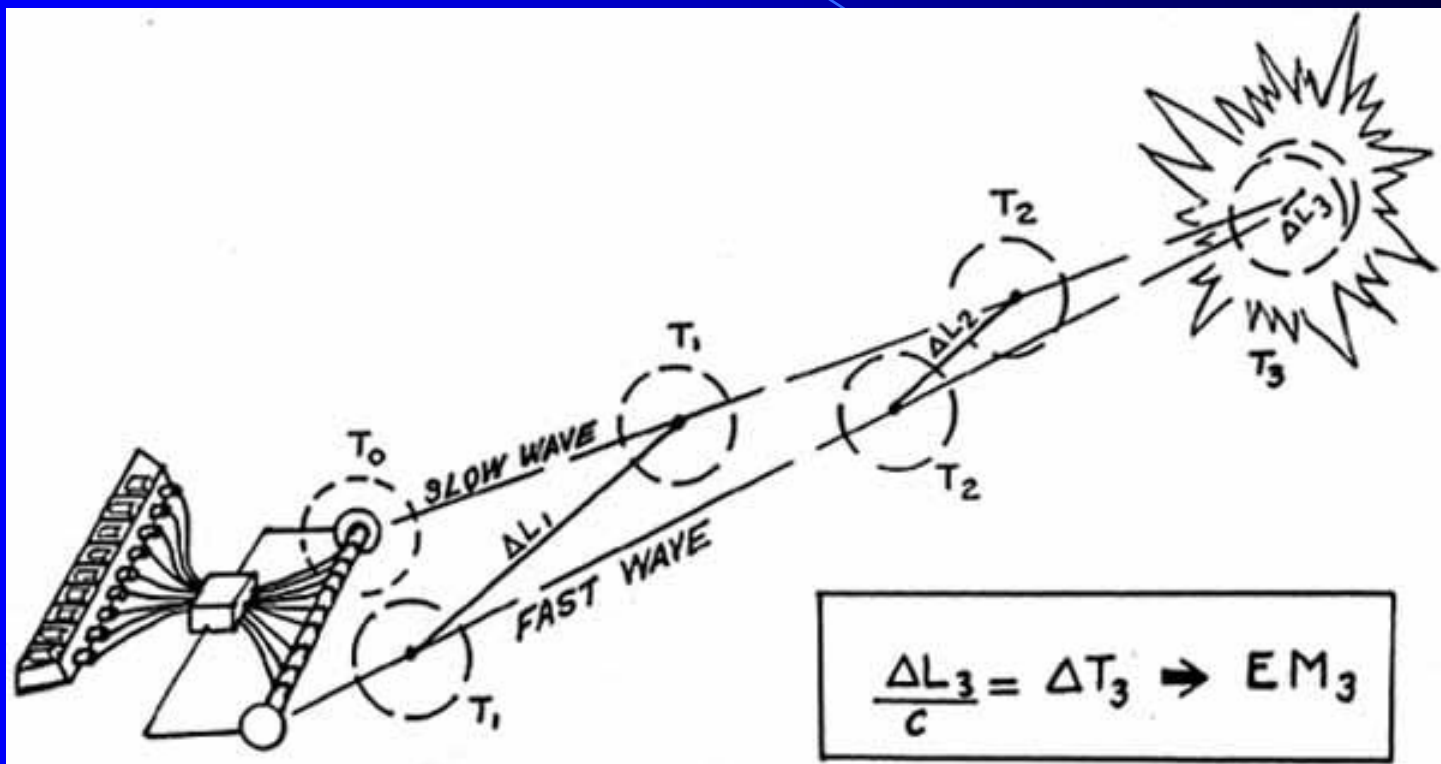
ソ連が冷戦中、極秘裡にモスクワ郊外に建設した
テスラ・タワー



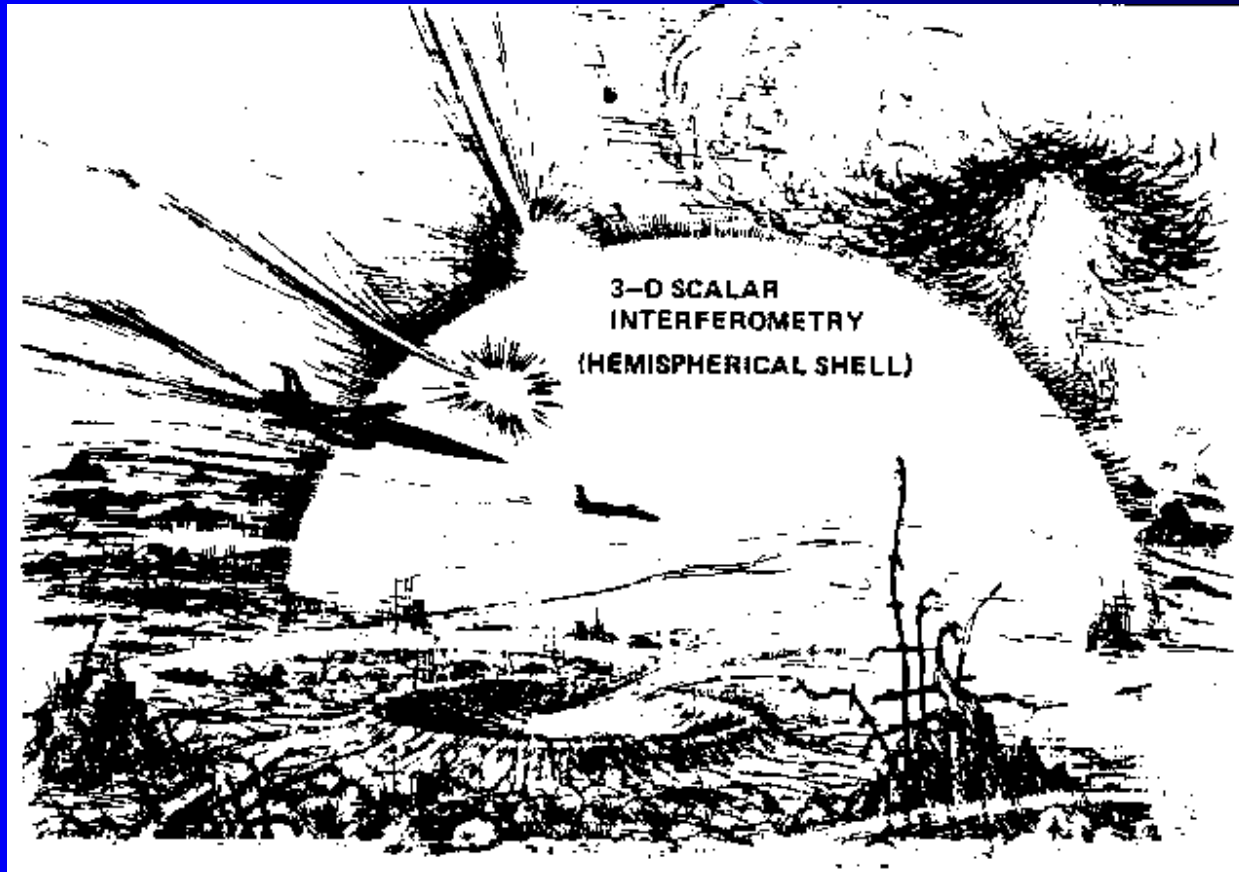
サリシャガン・ミサイル射撃場の上空写真



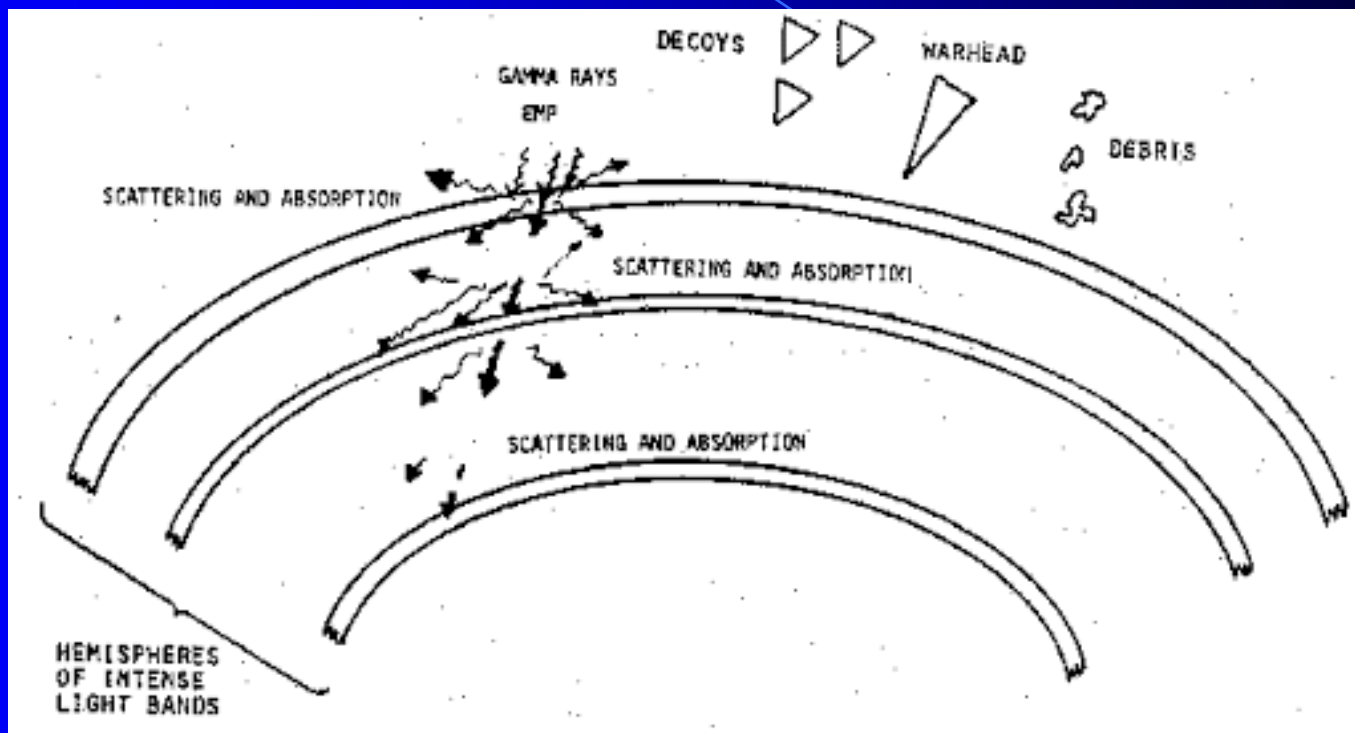
サリシャガン・ミサイル射撃場のテスラ兵器の構造



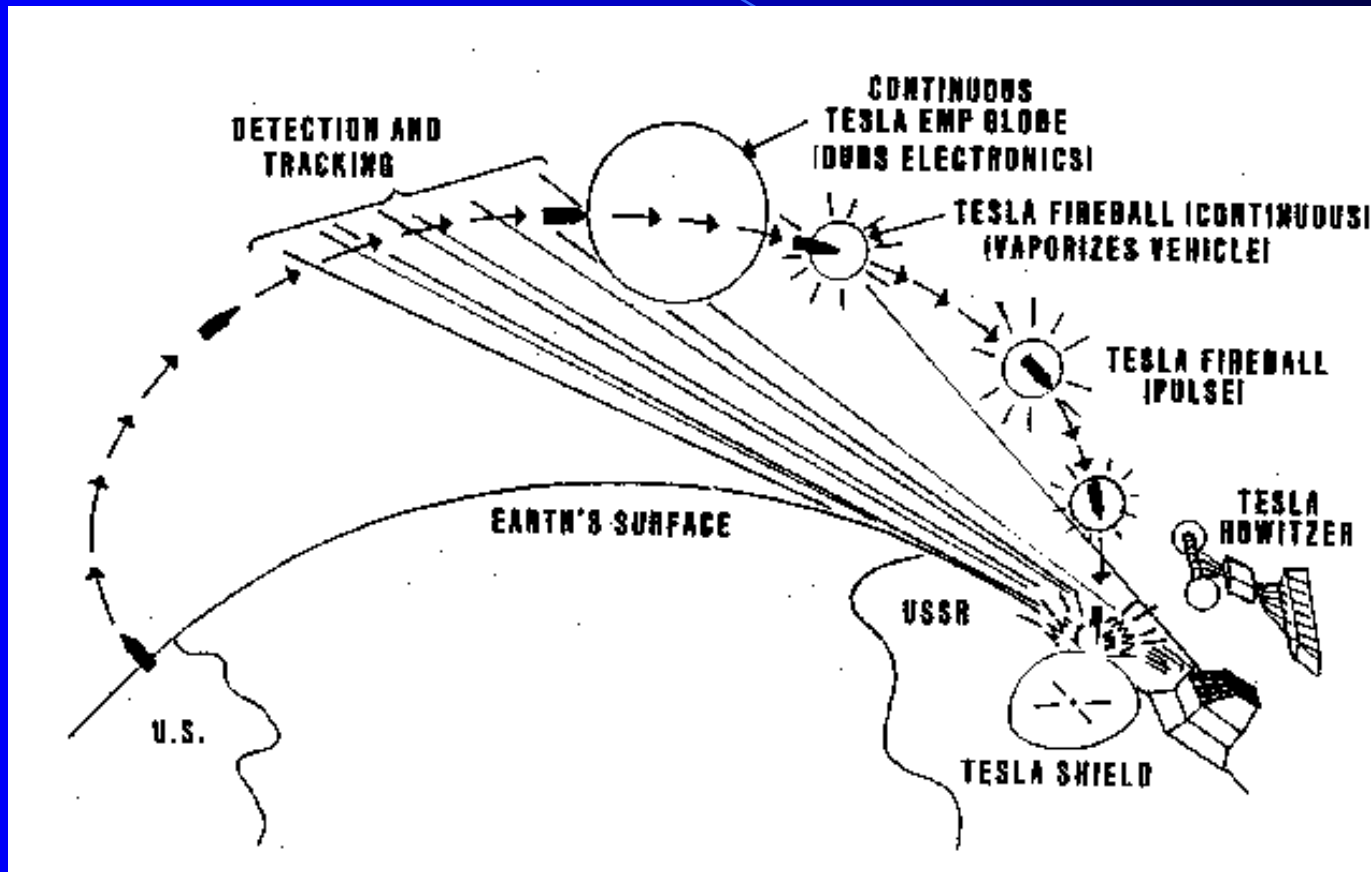
テスラ曲射砲の原理 (2つのスカラー波を対結合させエネルギーを生成する)



テスラ・シールド (究極のバリアー)



多層化したテスラ・シールドによる迎撃目標の破壊



テスラ兵器パルスモードの作動原理



1966年イランのテヘラン上空で目撃されたテスラ火球



1976年リトアニア上空で目撃された火球

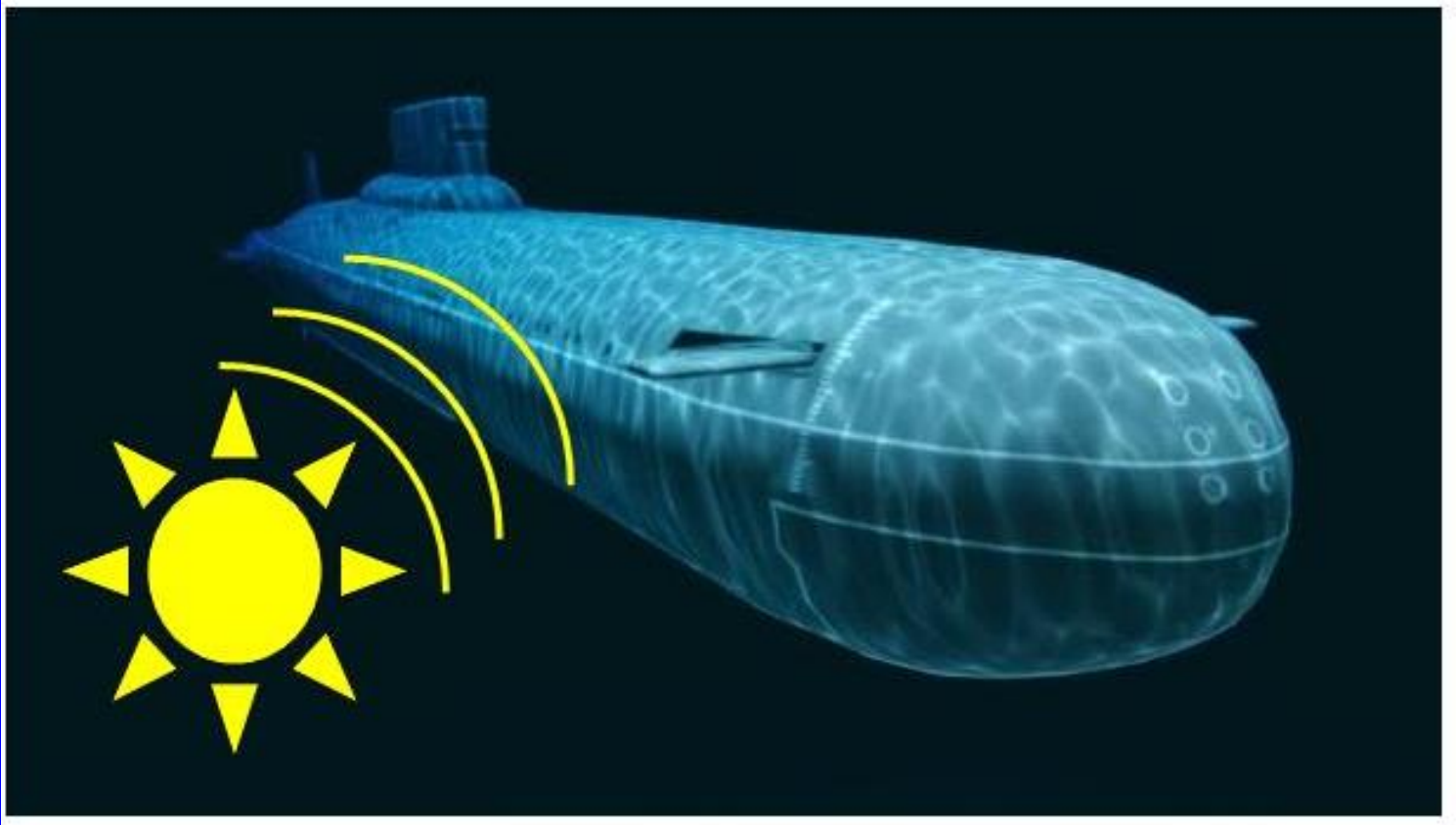


1984年千島列島付近で目撃された火球

スカラー波によるエネルギーベクトル

$$\operatorname{div}\left(\varepsilon \frac{\partial \phi}{\partial t} \cdot E\right) \approx \frac{\varepsilon}{2} \frac{\partial}{\partial t} E^2 + \rho \frac{\partial \phi}{\partial t}$$

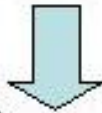
スカラー波は電荷と結合するとエネルギーを生じる。



テスラ兵器による潜水艦への攻撃

電荷の周りのエネルギー密度

$$u = \frac{q^2}{32\pi^2 \epsilon r^4}$$



(総エネルギー)

$$U = \int_a^{\infty} \frac{4\pi r^2 q^2}{32\pi^2 \epsilon r^4} dr = \frac{q^2}{8\pi \epsilon a}$$



ガンマ線域の大量の
テスラ波が発生

RAINBOW OVER HONOLULU



スターフィッシュ作戦の映像

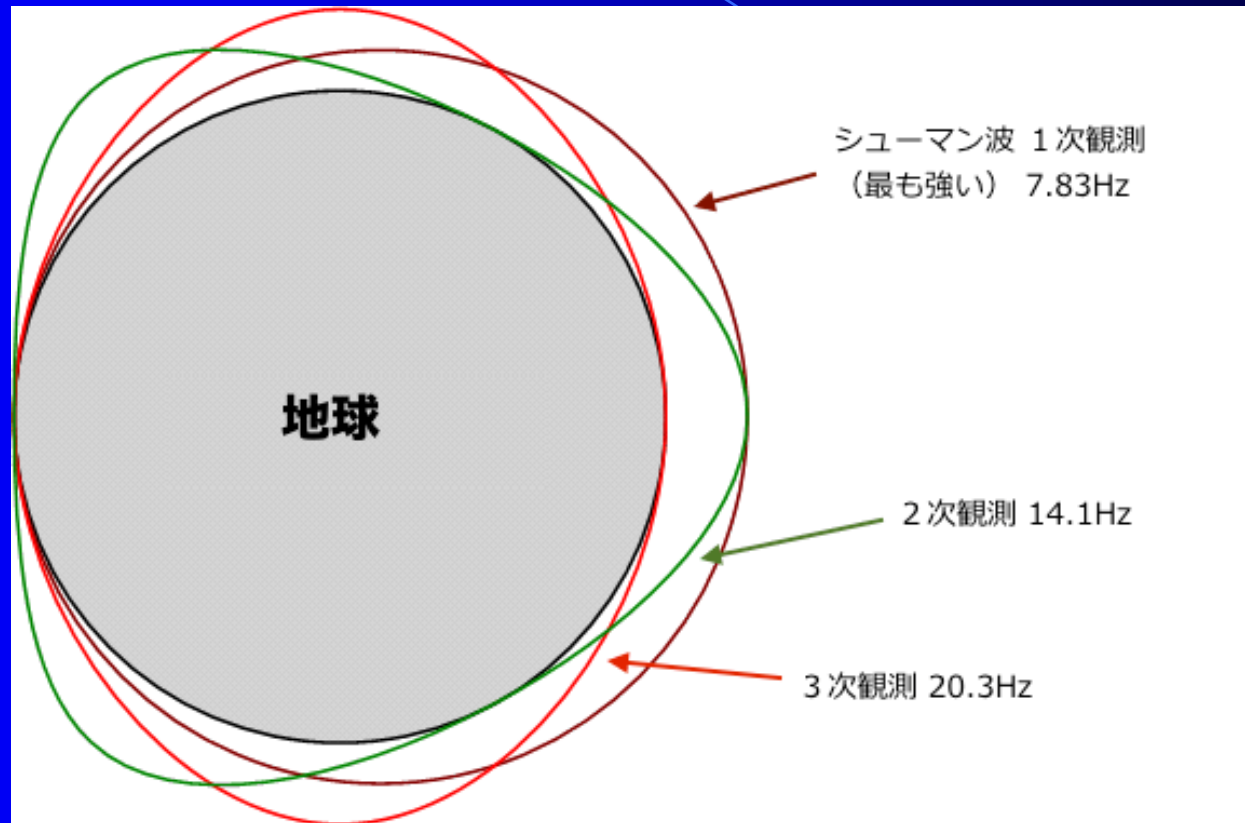
(地球の共振周波数)

$$\omega = j \frac{2c^2}{v_l R} \pm \frac{2c}{R} \left(1 - \frac{c^2}{v_l^2} \right)^{1/2}$$

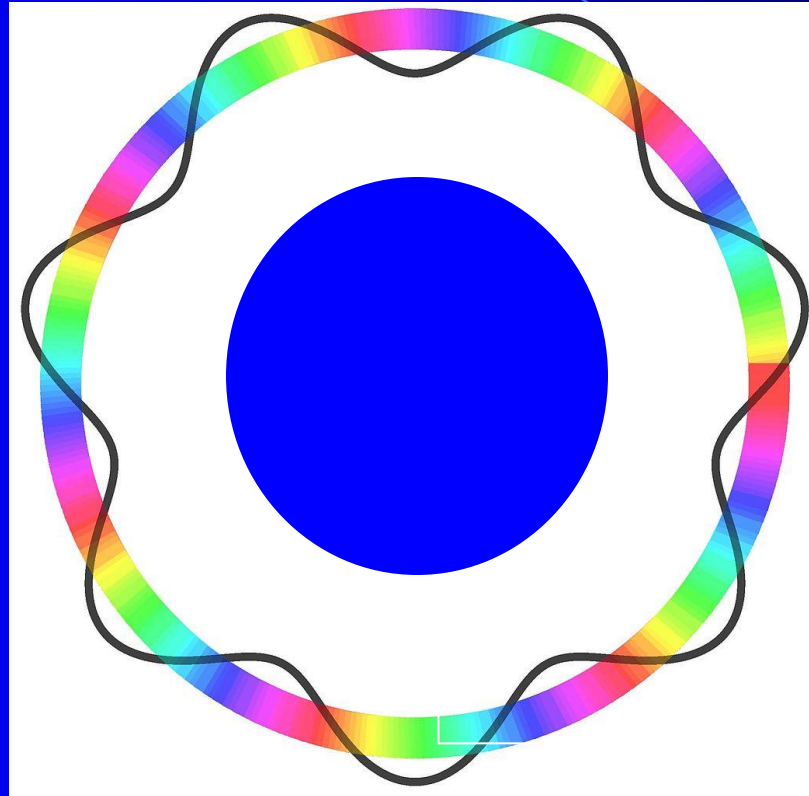
(シューマン共振周波数)

$$\omega_n = \frac{c}{R} \sqrt{m/(m+1)}$$

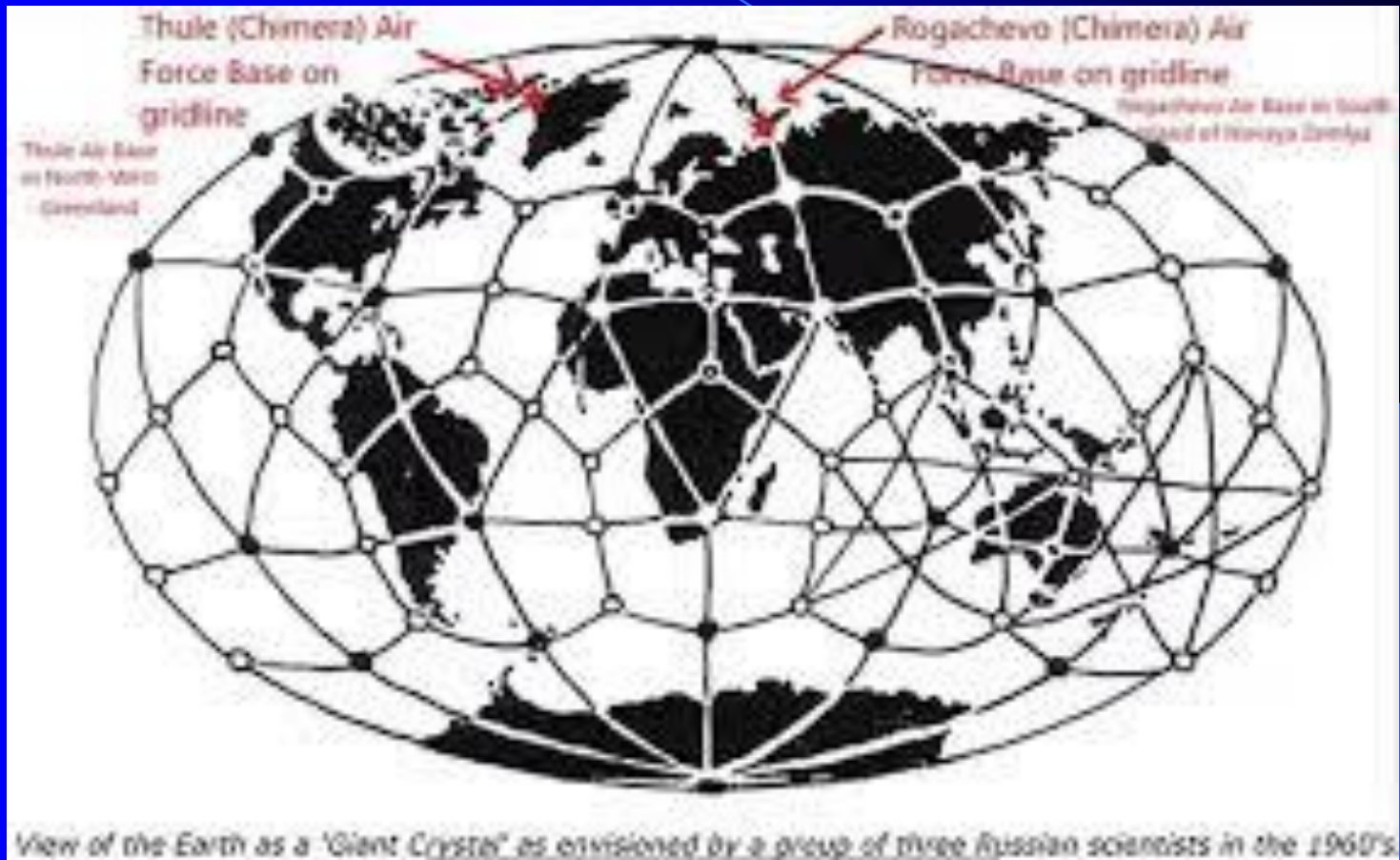
地球の共振周波数とシューマン共振周波数



地球のシューマン共振



地球上空に定在波が生じる(膨大な電磁ポテンシャル)



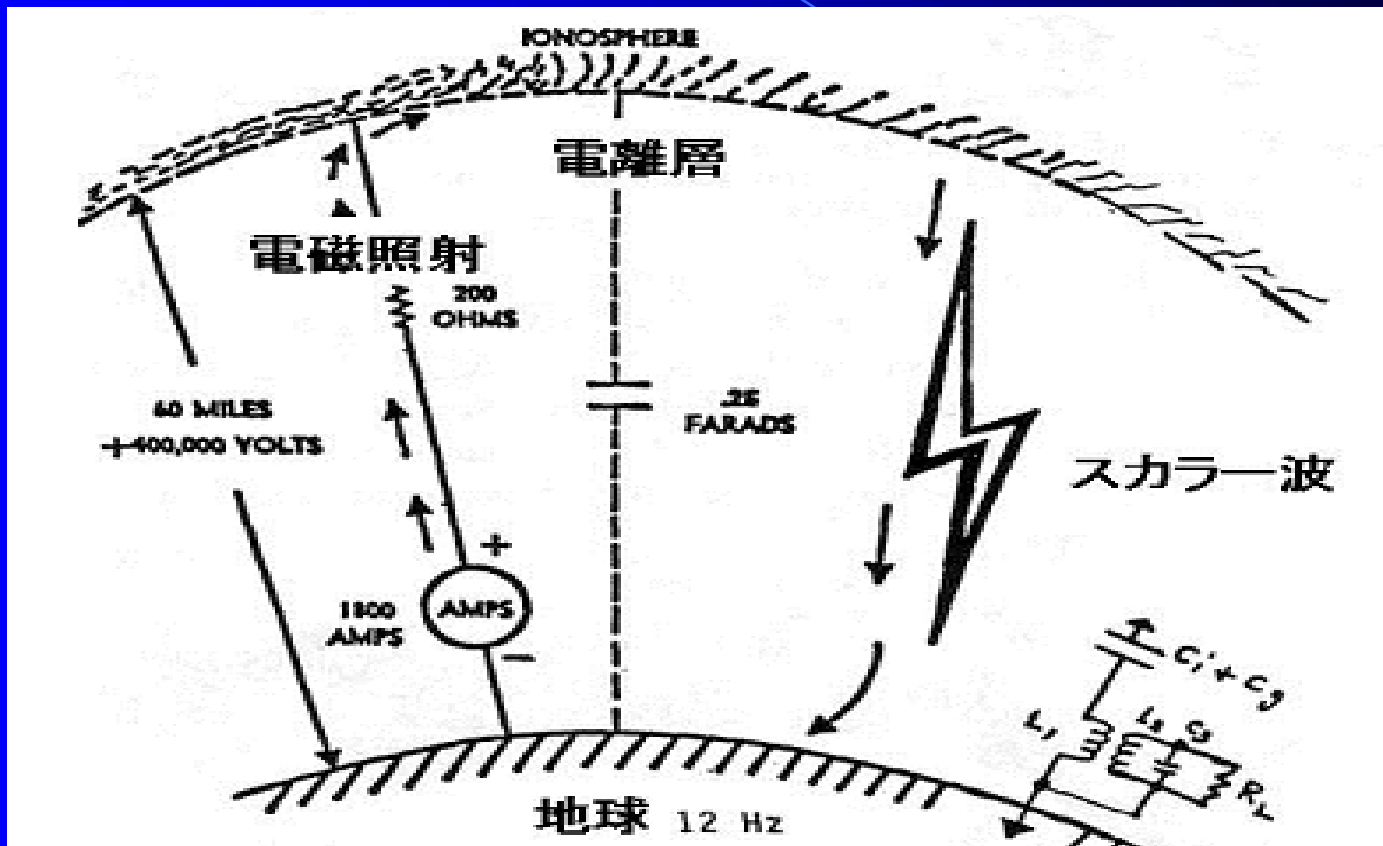
地球のエネルギー・グリッド



アラスカ州ガコナのHAARPの施設の写真（テスラ兵器か？）



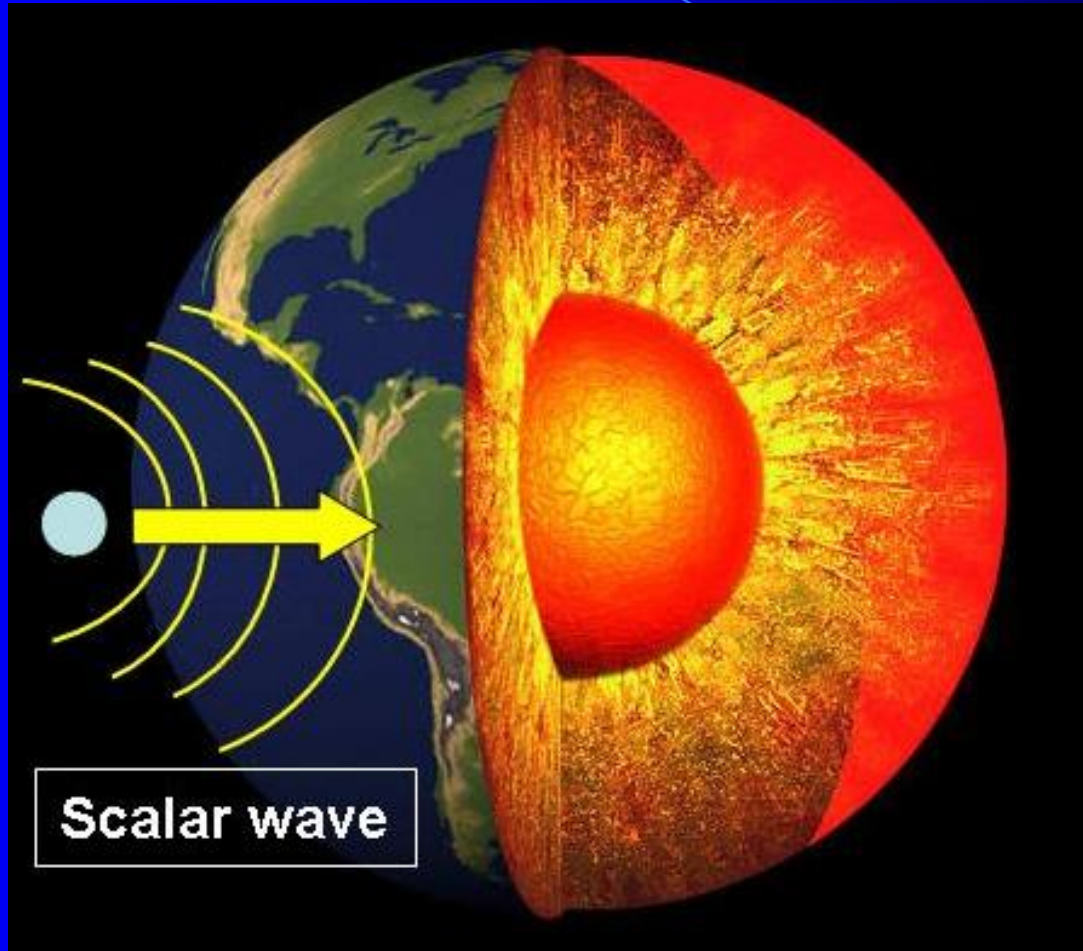
HAARPの作動想像図



HAARPシステムの作動原理 (想像図)



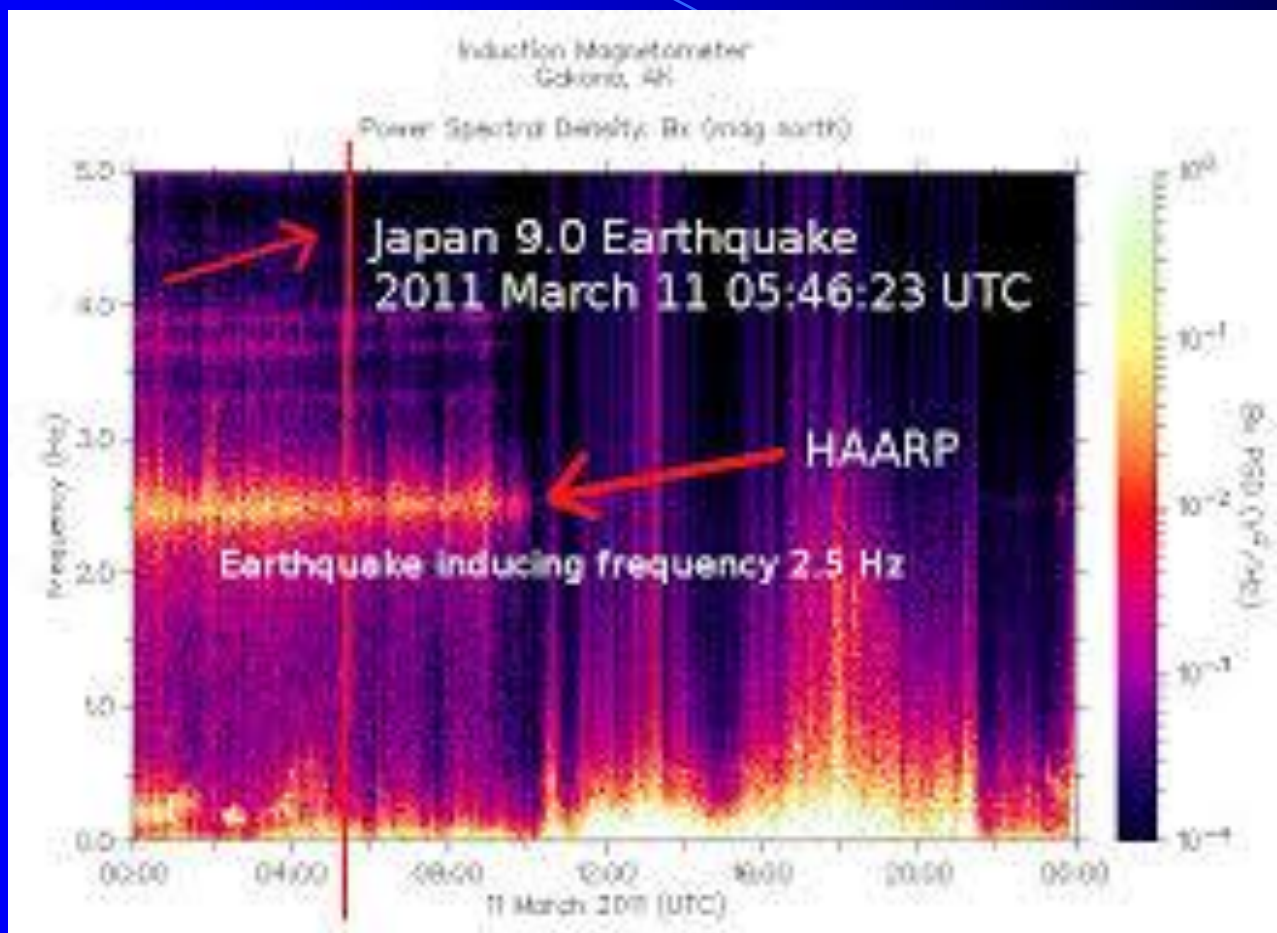
人工的と思われる雲の写真



テスラ兵器による地球内核の変動（想像図）

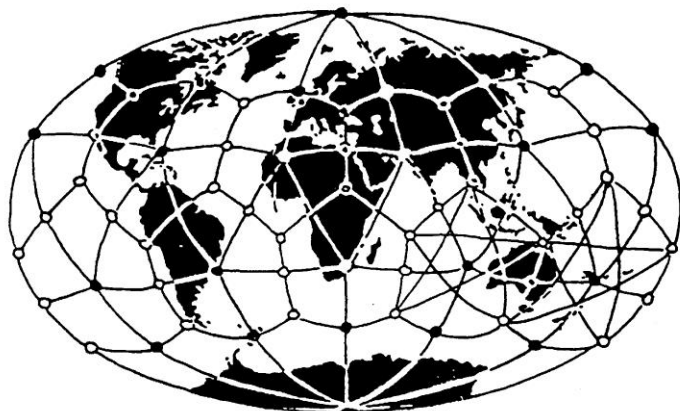


テスラ兵器による地震

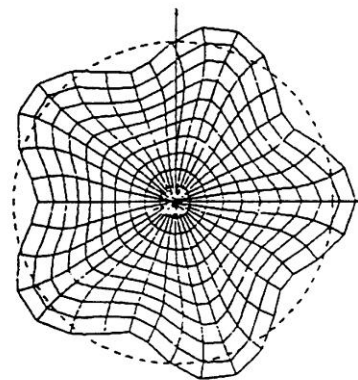


地震前に観測された謎の電磁波

エネルギーの世界グリッドと地球の共振パターンの計算値



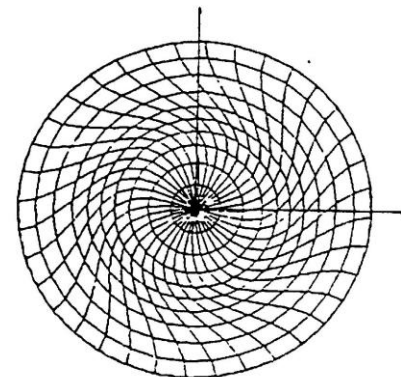
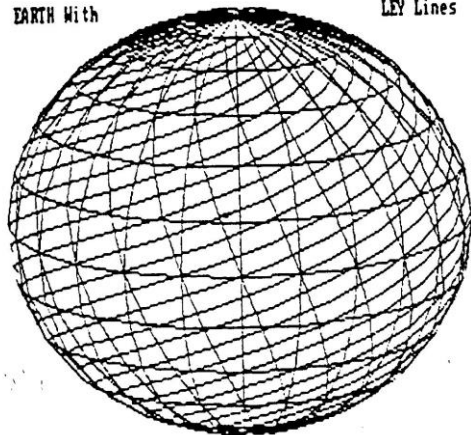
Earth crystalline energy grid



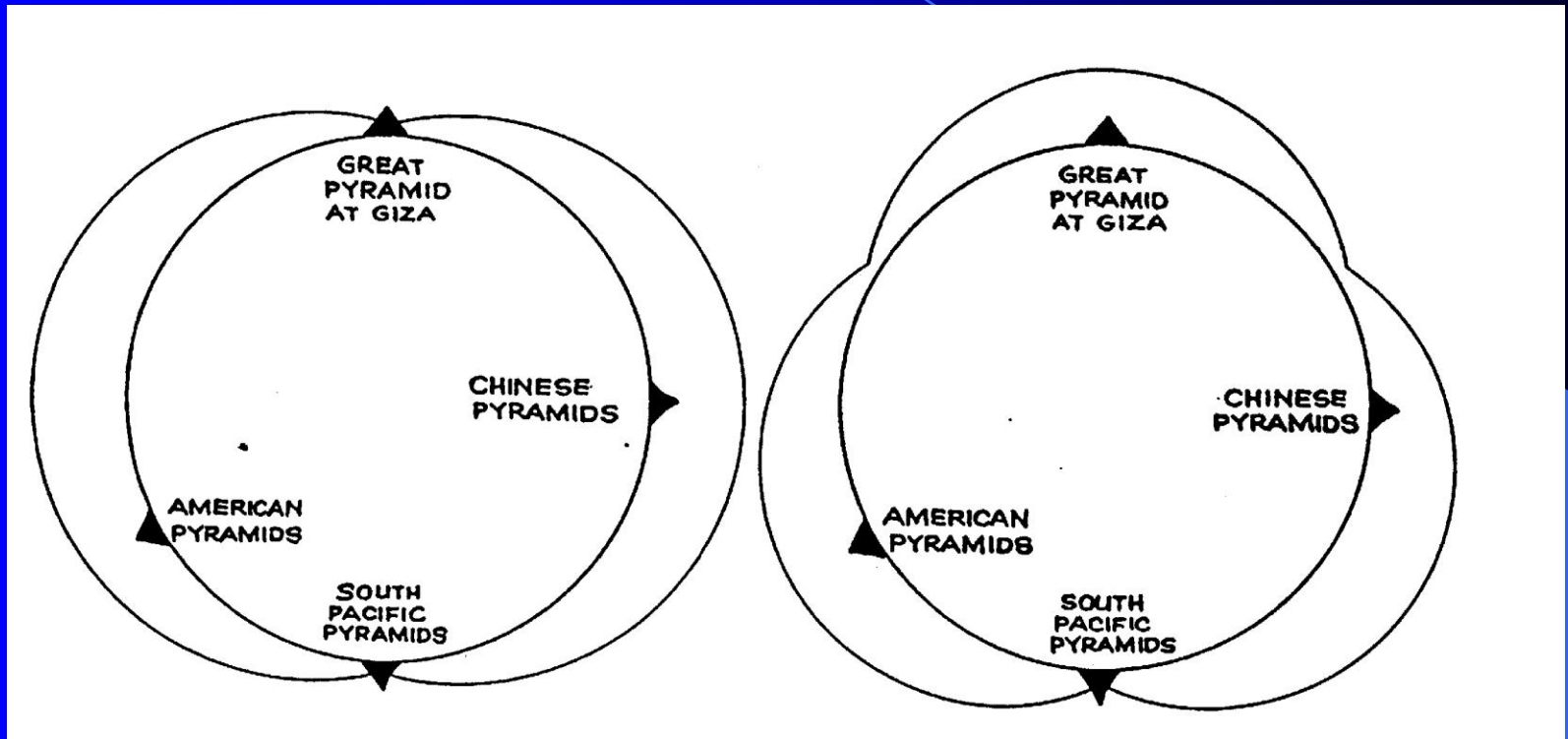
$$ak_T = 5.88$$

EARTH WITH

LEY Lines



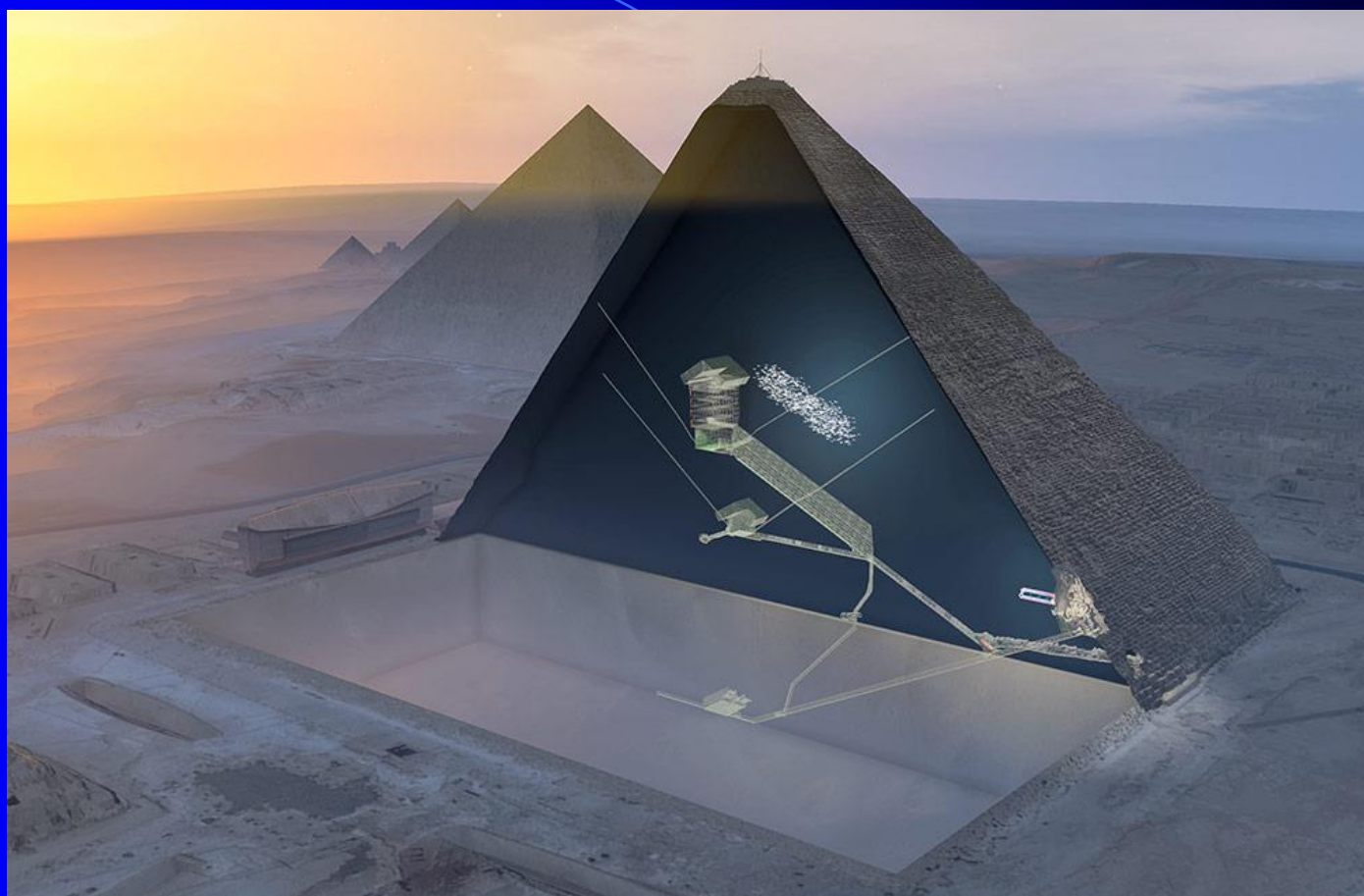
$$ak_T = 5.15$$



地球共振場とピラミッドの位置の関係の一例

世界各地のピラミッド





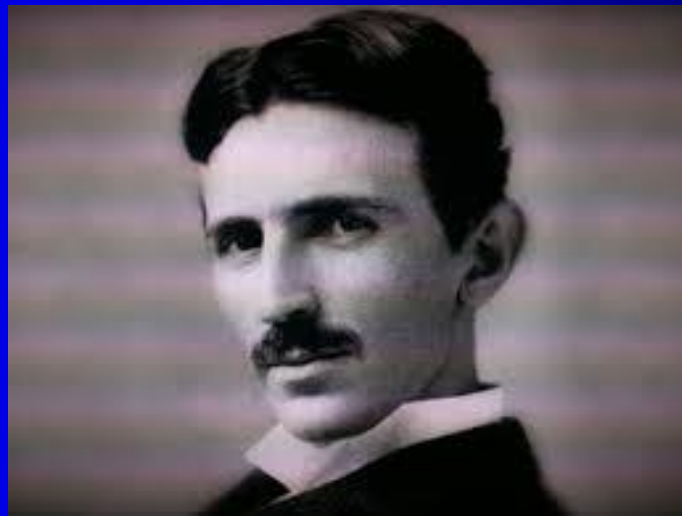
ギザの大ピラミッドの内部構造
(一種の電磁装置)

A night scene of a full moon over the ocean with a starry sky. The moon is large and bright, casting a shimmering reflection on the dark water. The sky is filled with numerous stars, and the overall color palette is dominated by deep blues and blacks.

約1万5000年前、地球に月はなかった！
➡地球上の気象は不安定になる

ピラミッドは地球上の気象コントロールに使用されていたのではないか

電磁テンソルによるスカラー縦波の計算について詳しく知りたい方は npo.astro@gmail.com に連絡を下さい。



End